

人間になる会話 ～リフレクティングの成り立ちと 内外における展開～

医療・福祉・教育・矯正など支援の現場で問われる「関係性」。本講演では、現在司法・矯正領域でご活躍されている矢原隆行先生をお招きしてリフレクティングの成り立ちと実践への展開を学び、対話を通じた支援の新たな可能性に触れます。前半は主に矢原先生のご講義、後半はグループに分かれてリフレクティングのワークを行います。

日時：12月6日（土）10：00～15：30
（12時から1時までお昼休憩）

場所：ACU1605
札幌市中央区北4条西5丁目
アスティ45 16F

矢原隆行（Takayuki Yahara）
熊本大学大学院人文社会科学研究部教授

臨床社会学者。ノルウェー北部、北極圏の街トロムソで、トム・アンデルセンが仲間たちと生み出したリフレクティング・プロセスに関心を持ち、北欧各地のメンタルヘルス、司法、教育、福祉、組織開発などの実践現場を訪ねる。国内では、福祉施設、精神科医療機関、少年院や刑務所などと協働して、リフレクティングの実践研究に取り組んでいる。関心は、あたりまえの会話が生まれるところ、文脈に風を通すこと。現在、熊本大学大学院の紛争解決学を掲げる専攻にて「ダイアログ実践」を担当。

著書 『矯正職員のためのリフレクティング・プロセス』矯正協会、二〇二四年／『リフレクティングの臨床社会学：ケアとダイアログの思想と実践』青土社、二〇二三年他多数。



お申込みは右のQRコードからフォームにご記入ください。

受講料:500円（飲み物付）

定員：30名程度

問い合わせ先：北海道医療大学精神保健

福祉学講座：k-okuda@hoku-iryo-u.ac.jp（奥田かおり研究室）

